

3月定例会の日程

| | |
|-------|---|
| 2月27日 | 本会議〔会期の決定、 予算大綱説明、議案 説明など〕 予算審査特別委員会 |
| 3月6日 | 本会議〔一般質問〕 |
| 10日 | 本会議〔一般質問〕 |
| 11日 | 総務委員会 |
| 12日 | 文教委員会 |
| 13日 | 予算審査特別委員会 |
| 14日 | 予算審査特別委員会 |
| 17日 | 予算審査特別委員会 |
| 19日 | 本会議〔委員長報告、 質疑、討論、採決〕 |

四カ月児健診を受診するすべての子供と親に絵本二冊を贈呈するブックスタート事業に百七十七万六千円が計上されました。

東・西の学校給食センターを統合し、一日約二万食の調理能力をもつ新学校給食センターを十六年度までの事業として建設するため、今年度は十五億九百九十八万四千円が計上されました。

そのほか、愛知万博推進関連事業に百万円を始め、児童虐待予防対策事業、跨道橋耐震補強事業、緊急地域雇用創出特別基金事業、橋りょう耐震補強事業、住宅耐震補強助成事業などが予算化されました。

予算審査特別委員会での一般会計予算についての主な質疑は、次のとおりです。

●歳出
●総務費

愛知万博負担金

問 愛知万博地域連携プロジェクト委員会への負担金として百万円を計上しているが、その目的は。

答 万博推進局からの要請で平成十五、十六、十七年の三年間で、三河湾浄化に取り組む。アオサの発生原因から処理までを、アオサバイオマス研究会に調査、実証実験を委託するための負担金である。蒲郡市が百万円、愛知県が百万円弱である。

●民生費
●介護予防事業費

問 介護予防事業費として計上されている四十万四千

円の内容は何か。

答 介護保険にかからないために、また、介護が必要になっても重症にならないために転倒予防、寝たきり予防、痴呆予防を中心に、全市的なセミナーなどを四回、各地域でもシリーズで開催していく。

●衛生費

在宅当番医制度の利用実績

問 在宅当番医制度の実績や現状はどのようなか。

答 平成十二年度は六百十三人、十三年度は五百九十四人である。整形外科医、眼科医が当番のときは受診者はゼロだった。一番多いのは小児科、次いで内科である。

●農林水産業費
とよおか湖公園

問 案内板を設置してはどうか。

答 財政的には厳しいが、公園を使っていたら、手づくりなり何らかの方法を検討する。

●商工費

緊急雇用創出事業費

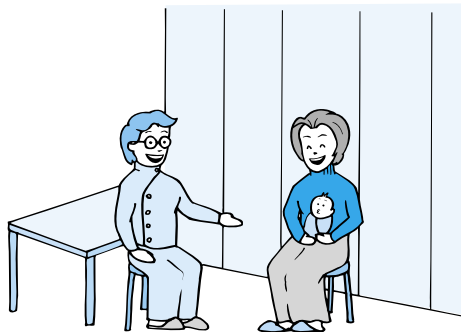
問 雇用を創出するために約一億一千五百万円の予算を計上しているが、どのような団体に委託し、何人の雇用が創出されるのか。

答 地場産品アンテナショップ、情報教育アドバイザリーなどは民間企業に、バリアフリーマップの作成などはNPOに、三河湾の水質浄化などはシルバー人材センターに委託しようと考えている。司書教諭の雇用など委託せずに市で行うものもあるが、合計百二十四名の新規雇用を考えている。

●土木費

街路樹整備費

問 市の花であるツツジに雑草が覆い被さって、ツツ



街路に植えられているツツジ

ジが見えなくなってしまうことがある。開花時期にあわせて手入れを望むがどうか。

また、街路まわりのツツジは、ガードレールで見えなくなってしまうことがあるがよい対策はないか。

答 ツツジの開花時期にあわせて手入れをするよう努める。

ガードレールは、交通安全上必要なものである。高さを下げたりすることは難しい。

●消防費

家具転倒防止器具の設置

問 高齢者や障害者の世帯を対象に取り付けを行うと